

経常収支比率とは？

自治体の財政運営の自由度を示す指標で、人件費や扶助費などの経常的支出が、標準的な財源に対してどれほどの割合を占めるかを表します。比率が高いほど、自由に使える財源が少なく、財政の硬直化を招く可能性があります。95%以上になると、財政の硬直性が高いことを示します。

令和6年度決算の
経常収支比率

94.1%

特別会計

会計名	歳入	歳出
国民健康保険特別会計	10億 551万円	9億8,113万円
後期高齢者医療特別会計	1億4,247万円	1億4,092万円
介護保険特別会計	9億8,885万円	9億4,159万円

企業会計

会計名		歳入	歳出
水道事業会計	収益的収支	3億9,129万円	3億4,403万円
	資本的収支	1,782万円	1億2,931万円
下水道事業会計	収益的収支	8億8,930万円	7億8,791万円
	資本的収支	4億7,434万円	6億3,344万円
病院事業会計	収益的収支	3億5,102万円	3億 952万円
	資本的収支	2億5,757万円	2億7,781万円

※金額は1万円未満を四捨五入して表示しています。

※資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額については、消費税調整額や損益勘定留保資金などで補填しています。

※企業会計の金額は、消費税込みの金額となります。

令和6年度に行った注目事業



都市構造再編集中支援事業
(主水公園整備) (繰越含む)

3億2,489万3,440円



湯沢高原ロープウェイ施設管理費

1億515万8,229円